

～人を豊かに、地球を美しく～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

第70期 2019年3月期

決算説明会



— お問合せ先 —

取締役 IR部長 木下敦視

TEL: (03) 5381-0728

FAX: (03) 3349-0867

<http://www.matsuda-sangyo.co.jp/>



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

決算概要と事業展開について



○ 2019年3月期（連結）決算のポイント

■ 連結経営成績

2019.3月期の連結売上高は前期比+9.5%の増収、営業利益は同+1.4%の増益。

■ 貴金属関連事業

主力顧客であるエレクトロニクス業界は、車載関連での好調は維持されたものの、スマートフォンの低迷やデータセンター需要が頭打ちとなるなど、半導体・電子デバイスの生産状況に減速が見られる厳しい状況となりました。

【前期比】 売上：+10.2%増収、営業利益：+1.1%増益

■ 食品関連事業

主力顧客である食品製造業界は、国内の個人消費に力強さを欠く中で、加工食品需要の高まりや海外展開の拡大などにより、緩やかな上昇傾向で推移しました。

【前期比】 売上：+8.4%増収、営業利益：+2.3%増益

※比較数値は、全て前期比

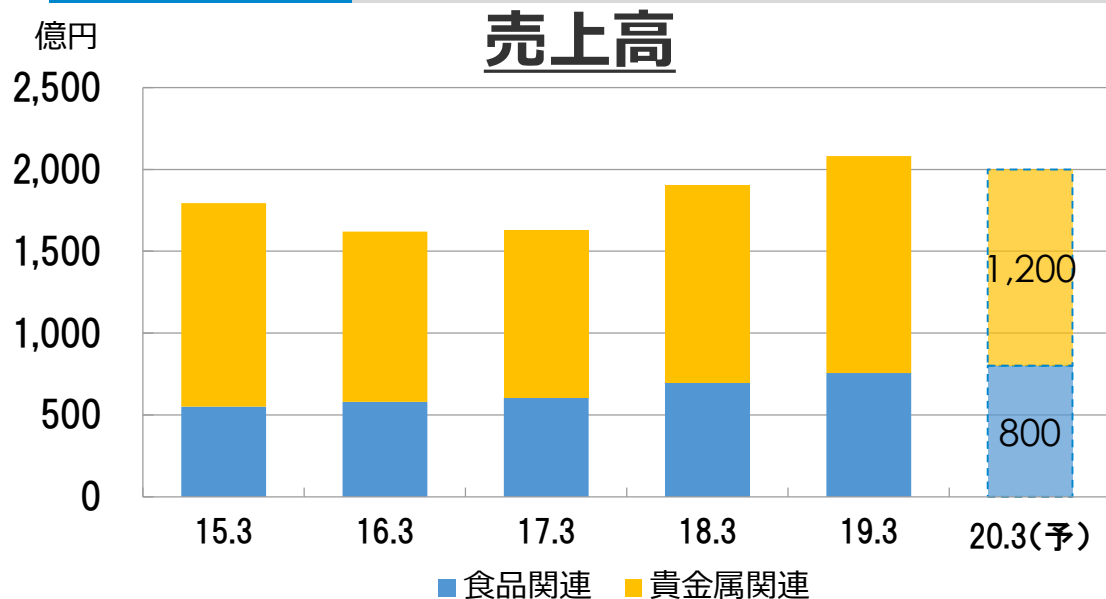
2019年3月期（連結） 決算概要

単位：百万円

	18.3期	19.3期	増減	%
貴金属関連	120,492	132,771	+12,278	+10.2%
食品関連	69,691	75,566	+5,875	+8.4%
売上高	190,184	208,338	+18,154	+9.5%
貴金属関連	3,407	3,444	+36	+1.1%
食品関連	1,470	1,503	+33	+2.3%
営業利益	4,877	4,948	+70	+1.4%
営業利益率	2.6%	2.4%	—	
経常利益	5,142	5,094	▲ 48	▲0.9%
経常利益率	2.7%	2.4%	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,459	3,391	▲ 68	▲2.0%
当期純利益率	1.8%	1.6%	—	
1株当たり当期純利益(円)	131.37	128.77	▲ 3	▲2.0%
1株当たり純資産(円)	2,149.11	2,236.35	+87	+4.1%

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

連結決算の推移と2020年3月期通期の見通し



2020.3期通期予想(対 19.3期比)

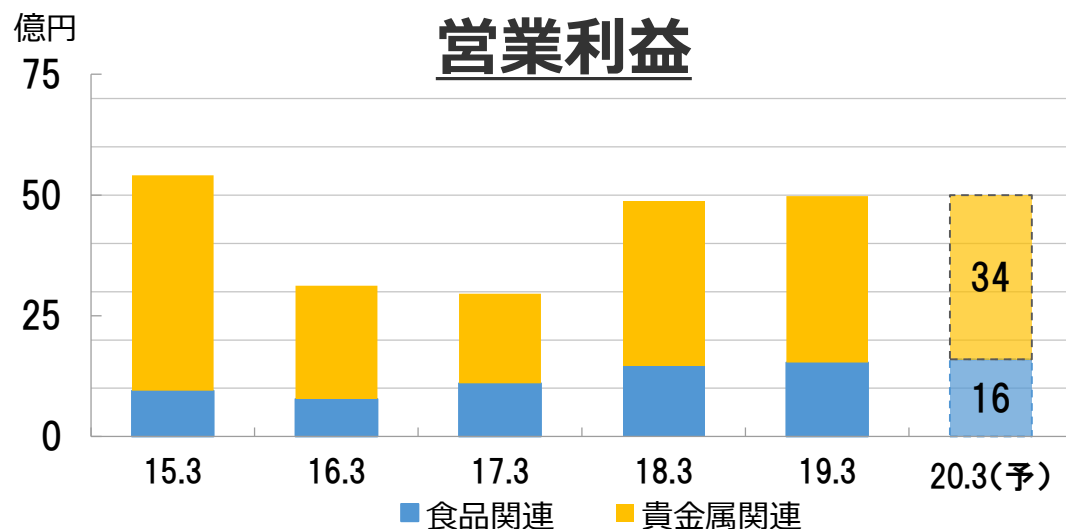
2,000億円 (▲83億円 ▲4.0%)

■ 貴金属関連事業

1,200億円 (▲127億円 ▲9.6%)

■ 食品関連事業

800億円 (+44億円 +5.9%)



50億円 (+0.5億円 +1.0%)

■ 貴金属関連事業

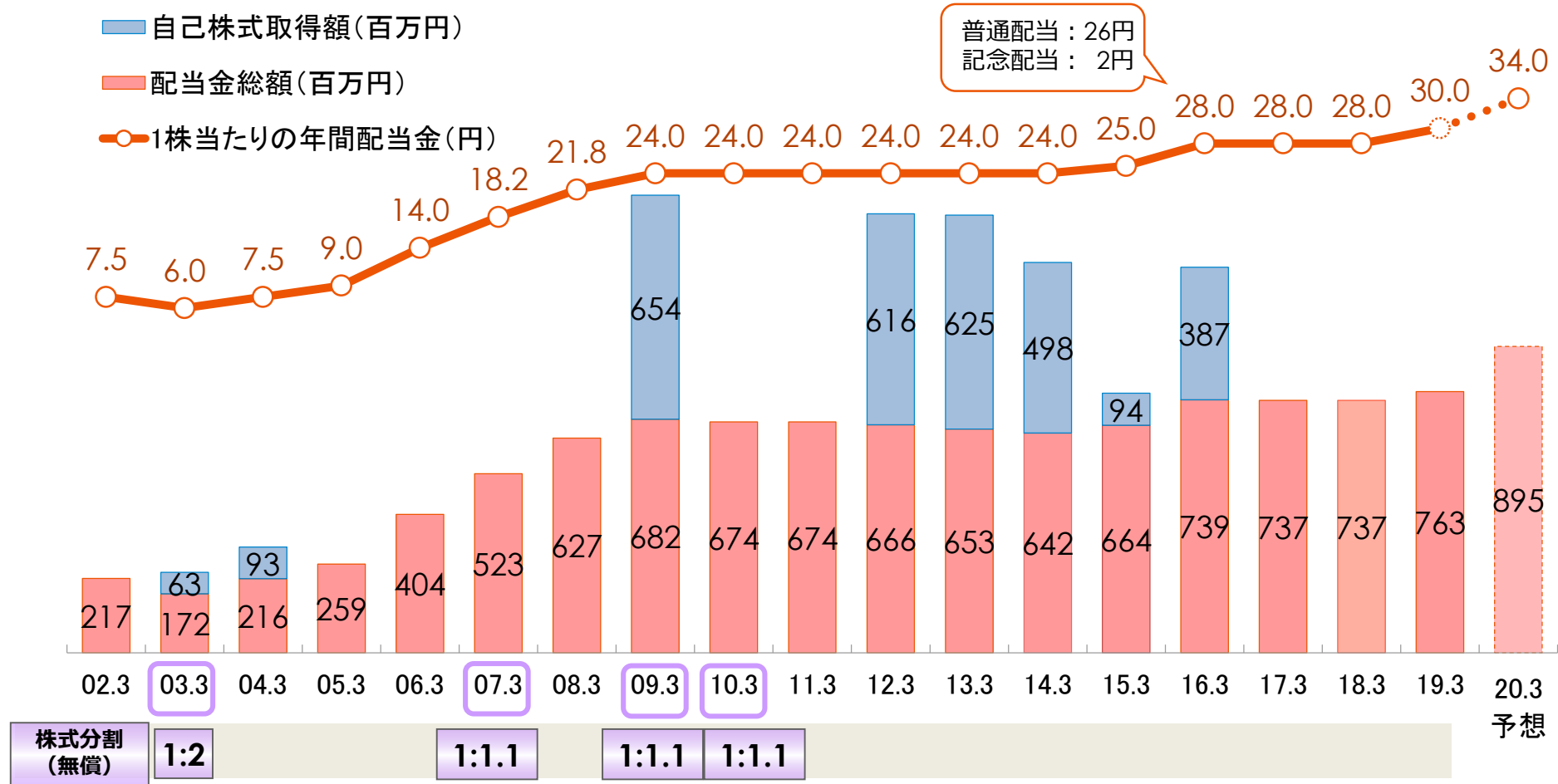
34億円 (▲0.4億円 ▲1.3%)

■ 食品関連事業

16億円 (+0.9億円 +6.4%)

利益還元に関する方針

内部留保とのバランスを考慮した株主への利益還元
安定配当の継続



(注1) 1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

(注2) 16.3月期の自己株式取得額は、2015年10月31日までの取得額を表示しています。

中期経営計画概要について (2019-2021年度)

前中期経営計画（2016-2018年度）の重点方針ビュー

重点方針	実施事項	時期
既存事業の収益極大化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関工場（岐阜県）稼働（貴金属関連） ・ 国内営業拠点の再編（食品関連） 	2017年度 2018年度
新たな収益源の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ がル食品の全株式を取得し事業活動を本格化 ・ 太平洋セメント様とのLiBrサイクルの共同研究でLiMnサイクル賞受賞 ・ 電子部品向け硬質金めっき液を市場投入 	2016年度 2016年度 2018年度
東アジア地区での積極拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハトナムで新工場稼働（貴金属関連） ・ ハトナム現地法人を設立（食品関連） ・ タイ ヒントンに支店開設（貴金属関連） ・ 台湾現地法人を設立（貴金属関連） 	2016年度 2017年度 2017年度 2018年度
最適な経営管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執行役員制度導入 ・ 海外拠点のシステム基盤強化 ・ 品質・環境統合マネジメントシステム運用開始 	2016年度 2017年度～ 2017年度
人材育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内研修を拡充（階層別、専門教育他） ・ 3年間で300名以上の人材を確保 	2016年度～ 2016年度～

		2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2018年度 中期経営計画 目標
連結	売上高	1,630億円	1,901億円	2,083億円	2,000億円
	営業利益	29億円	※ 48億円	49億円	40億円
	営業利益率	1.8%	※ 2.6%	2.4%	2.0%

※中期経営計画目標を1年前倒しで達成！

○ 新中期経営計画の連結業績目標

	2018年度実績 (2019年3月期)	2021年度目標 (2022年3月期)	成長率
売上高	2,083億円	2,200億円 [※]	106%
営業利益	49億円	55億円	112%
営業利益率	2.4%	2.5%	+0.1ポイント
ROE	5.9%	6.0%	+0.1ポイント

※会計基準変更の影響は含まない

○ 当社グループが目指す姿

資源の有効活用と安定供給により
事業(貴金属関連・食品関連)を通じて
社会に貢献してまいります

社会変化に適応し、進化し続ける「強い」会社へ！

⇒ステークホルダー（お客様、株主、取引先、従業員、地域社会等）の満足度向上

顧客ニーズに対応した高い付加価値を提供し続ける

貴金属関連事業

東アジアで資源循環を
創造するリーディングカンパニー

成長戦略推進

経営基盤強化

食品関連事業

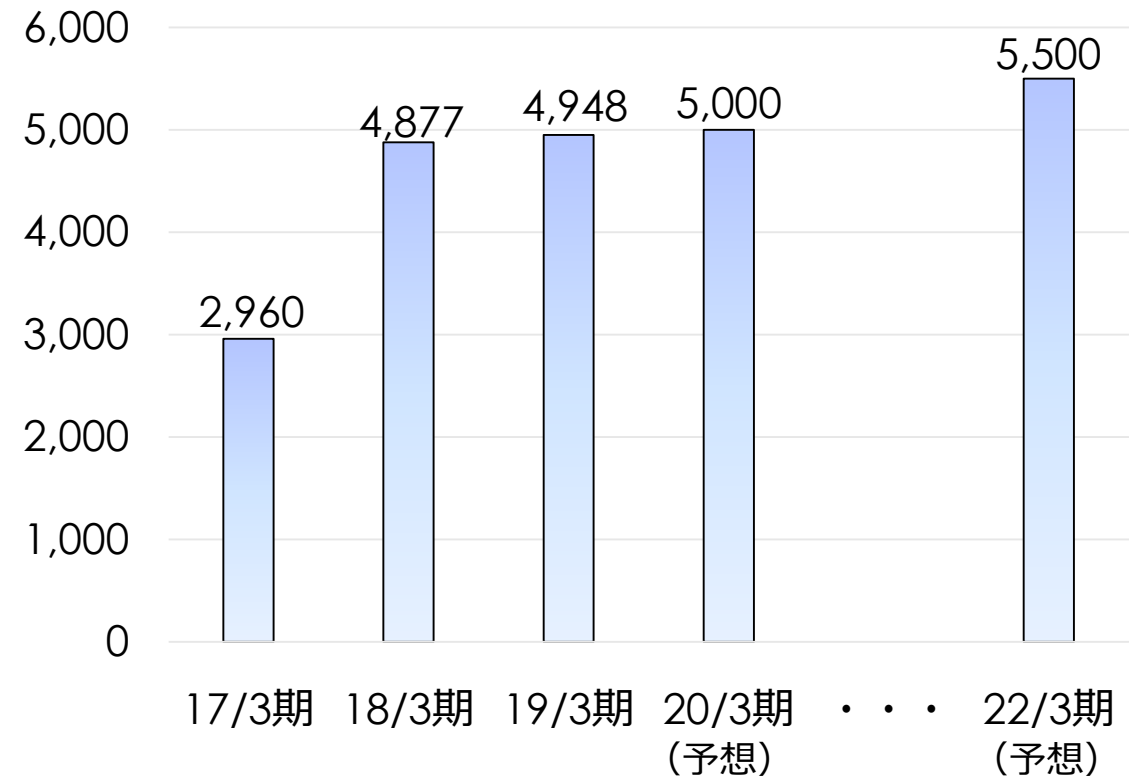
お客様の商品開発のベストパートナー

成長戦略

- ◆ 貴金属関連事業と食品関連事業の両事業を成長牽引役として事業拡大
- ◆ 製品・技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等、前中期経営計画より事業拡大に必要な成長投資を積極的に実施

営業利益推移（連結）

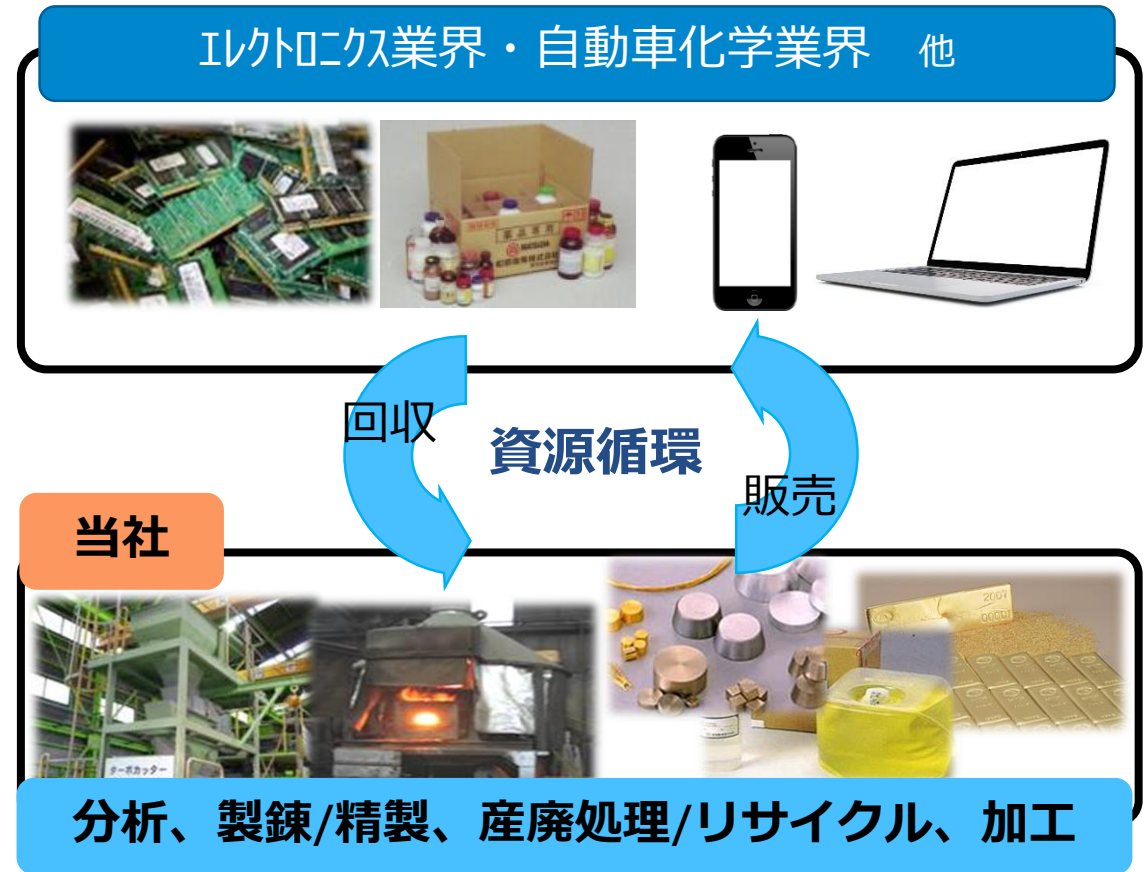
単位：百万円



貴金属関連事業

東アジアで資源循環を
創造するリーディングカンパニー

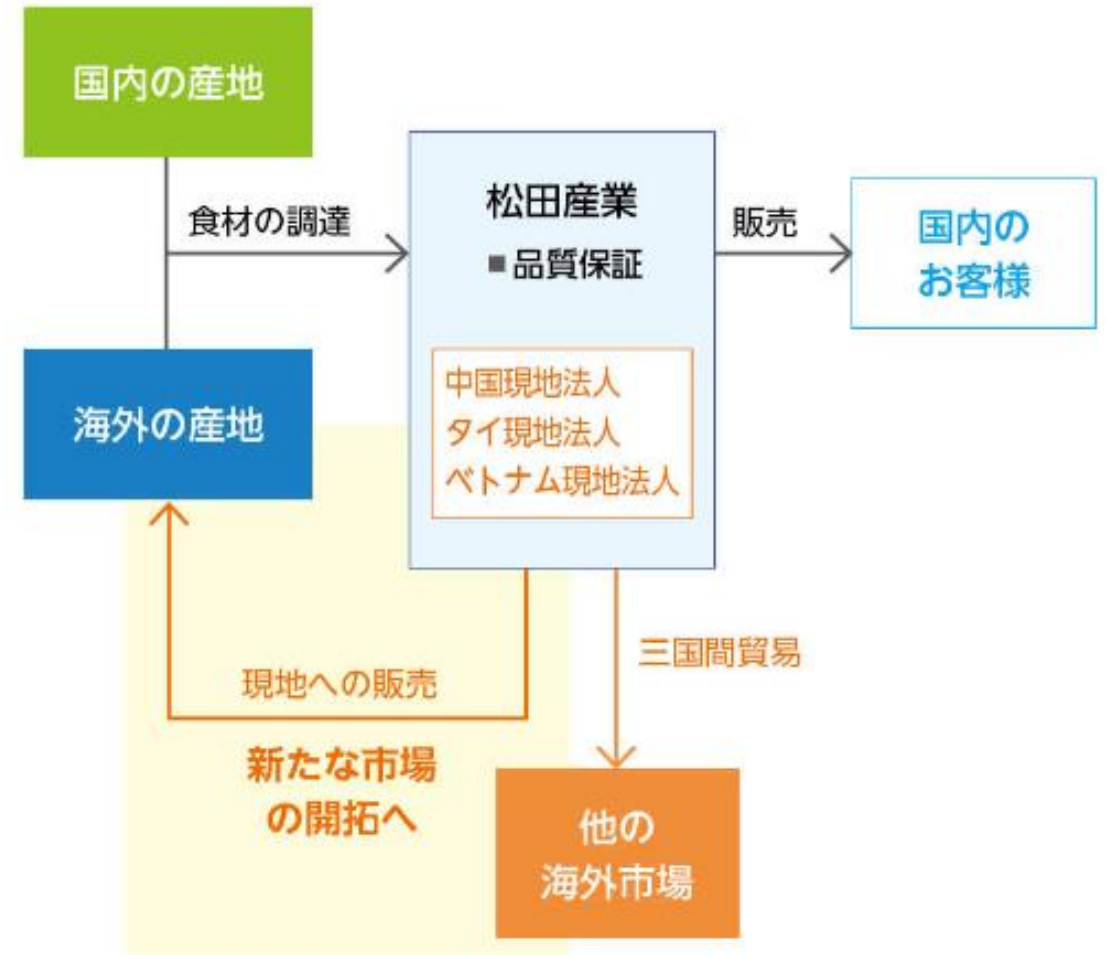
- 基幹事業の基盤強化。
- 資源循環ビジネスを始めとする顧客価値提案強化と営業体制整備
- 自動車関連市場／化学関連市場／海外市場の拡大
- E-スクラップ[®]、高機能電子材料、Liリサイクル等の事業領域拡大



食品関連事業

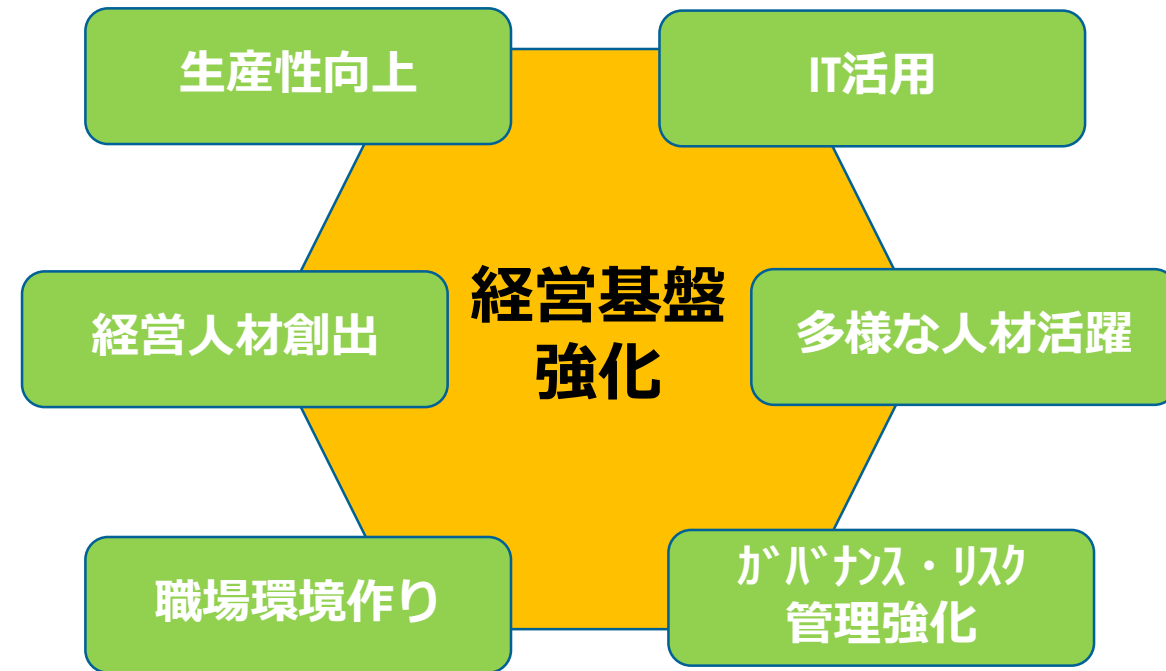
お客様の商品開発のベストパートナー

- 基幹事業の基盤強化
- 強い商品作りの為の開発／品質保証／生産管理支援機能強化
- 顧客ニーズに応じた商品ラインナップ拡充
- 国内に加え、グローバル展開を加速
(国内外拠点展開)



経営基盤の強化

- ・ ITを活用した管理機能強化と自動化・省力化を推進し生産性向上
- ・ 成長を牽引する経営人材の創出
- ・ 適材適所で多様な人材が活躍できる働きがいと働きやすい職場環境作り
- ・ がバナンス強化と多岐にわたるリスク管理（安全、遵法、事業リスク等）の徹底



○ 持続的な企業価値向上を目指して

当社が考えるサステイナブルな企業価値向上

企業理念：限りある地球資源を有効活用し、
業を通じて社会に貢献する

事業拡大
(業績／顧客価値)

事業を通じた
社会貢献



持続的成長サイクル

事業機会
拡大

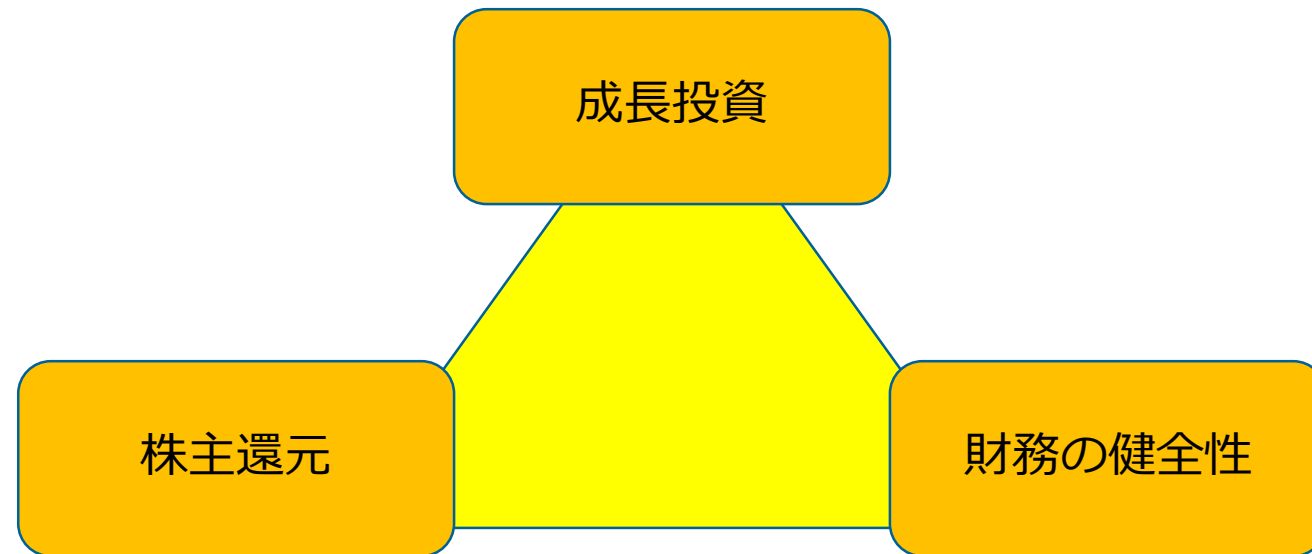
社会的課題
解決に貢献

<貢献できる社会的課題：SDGs>



【資本政策の基本方針】

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元
のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させてまいります



【株主還元の基本方針】

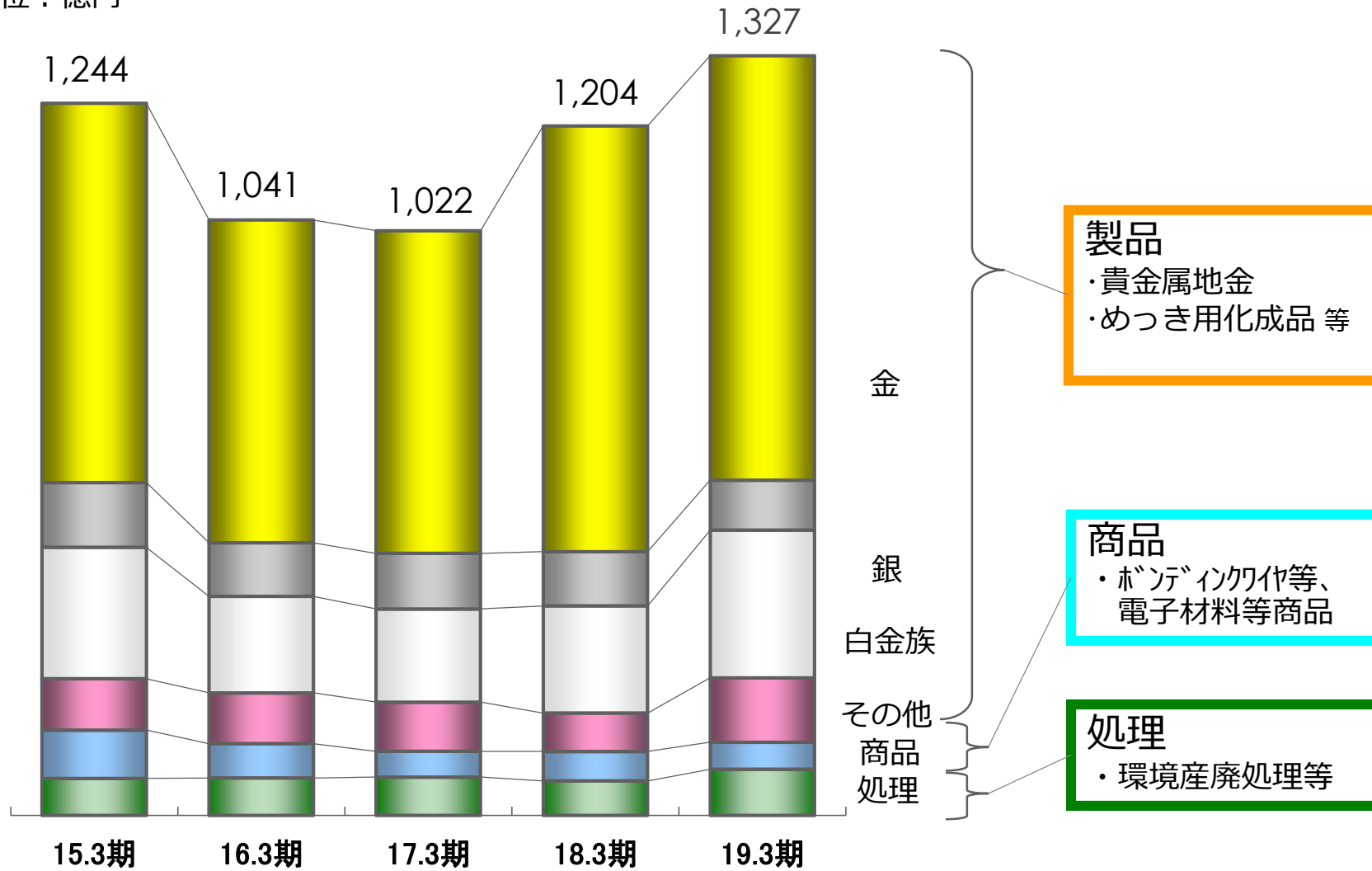
成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主への安定かつ
持続的な配当を実施する事により、株主の期待に応えてまいります

2019年3月期決算と 2020年3月期見通しについて



品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



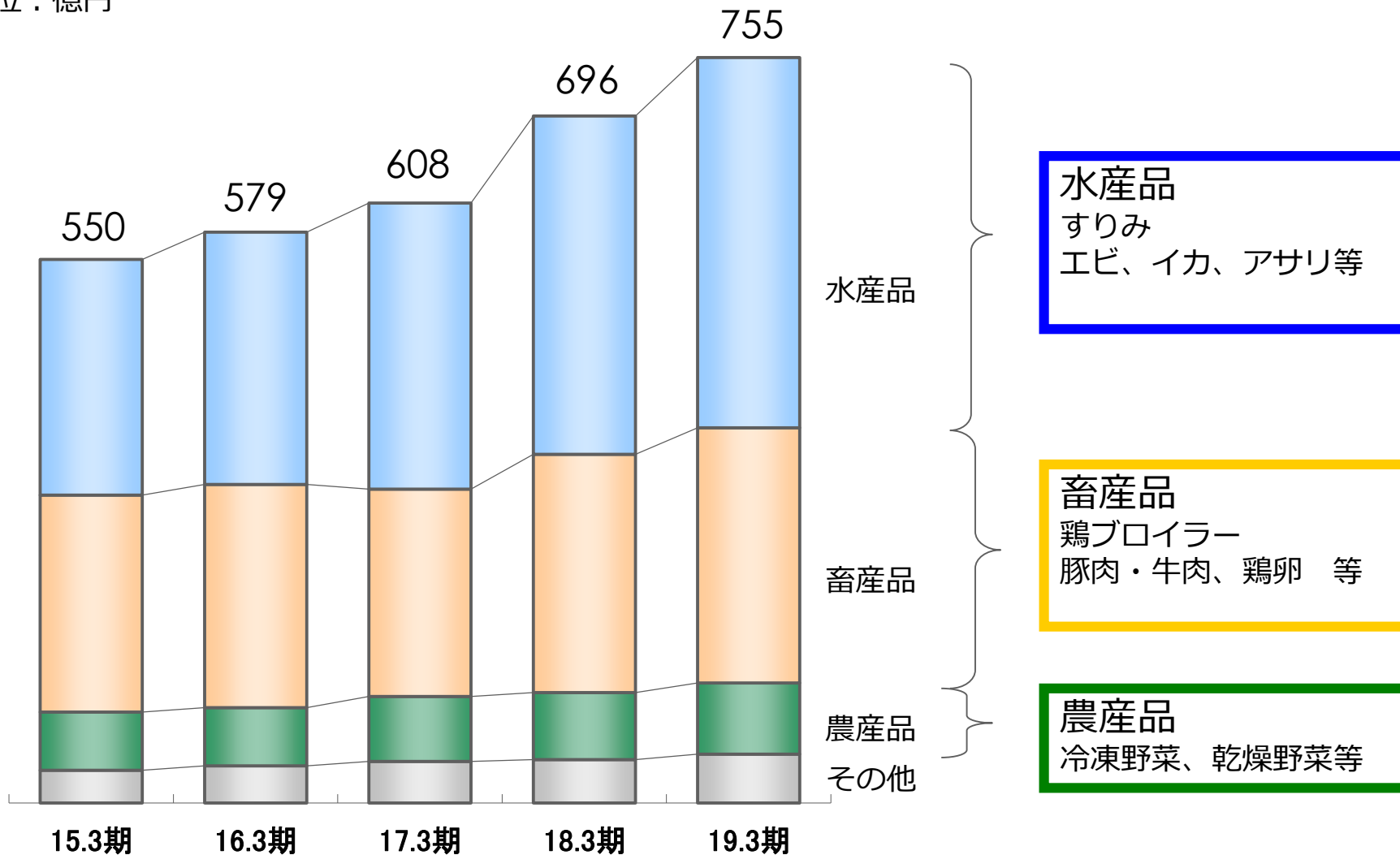
製品
 ・貴金属地金
 ・めっき用化成品等

商品
 ・ボンディング材等、
 電子材料等商品

処理
 ・環境産廃処理等

品目別売上高の推移 <食品関連事業>

単位：億円



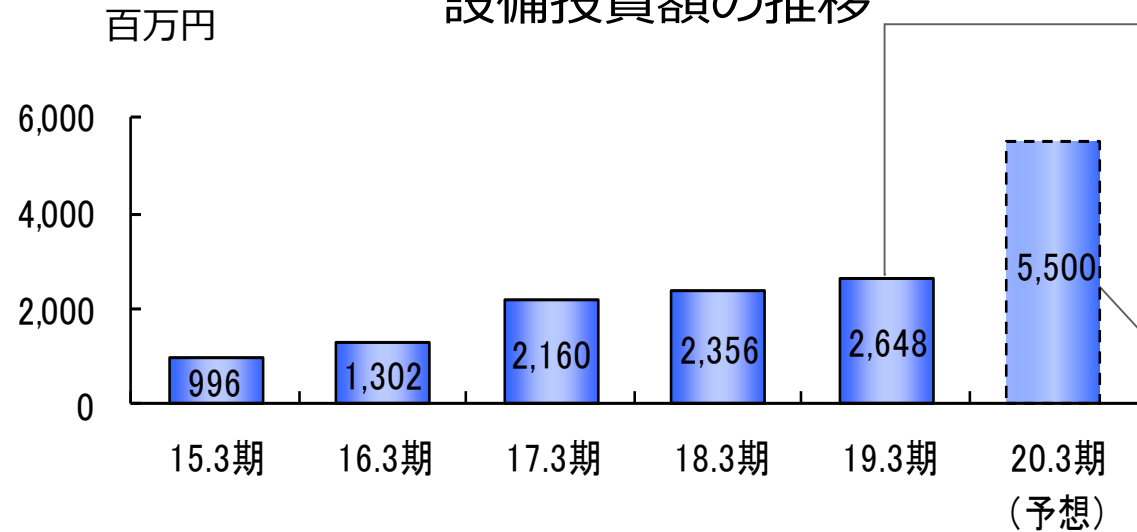
2020年3月期セグメント別業績見通し

単位：百万円

		19.3期 実績			20.3期 予想			増減	%
		上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	貴金属関連	66,266	66,505	132,771	57,000	63,000	120,000	▲ 12,771	▲9.6%
	食品関連	36,454	39,112	75,566	35,000	45,000	80,000	4,434	5.9%
	合計	102,721	105,617	208,338	92,000	108,000	200,000	▲ 8,338	▲4.0%
営業利益	貴金属関連	1,625	1,819	3,444	1,500	1,900	3,400	▲ 44	▲1.3%
	食品関連	880	623	1,503	800	800	1,600	96	6.4%
	合計	2,505	2,443	4,948	2,300	2,700	5,000	51	1.0%
経常利益		2,722	2,372	5,094	2,330	2,770	5,100	5	0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(円)		1,856	1,535	3,391	1,570	1,880	3,450	58	1.7%
1株当たり 当期純利益(円)		70.49	58.28	128.77	59.62	71.39	131.01	2.24	1.7%
1株当たり配当金(円)		15	15	30	17	17	34	4	13.3%

※増減は19.3通期実績 対 20.3通期予想(2019年5月13日発表の連結業績予想)です。

設備投資額の推移

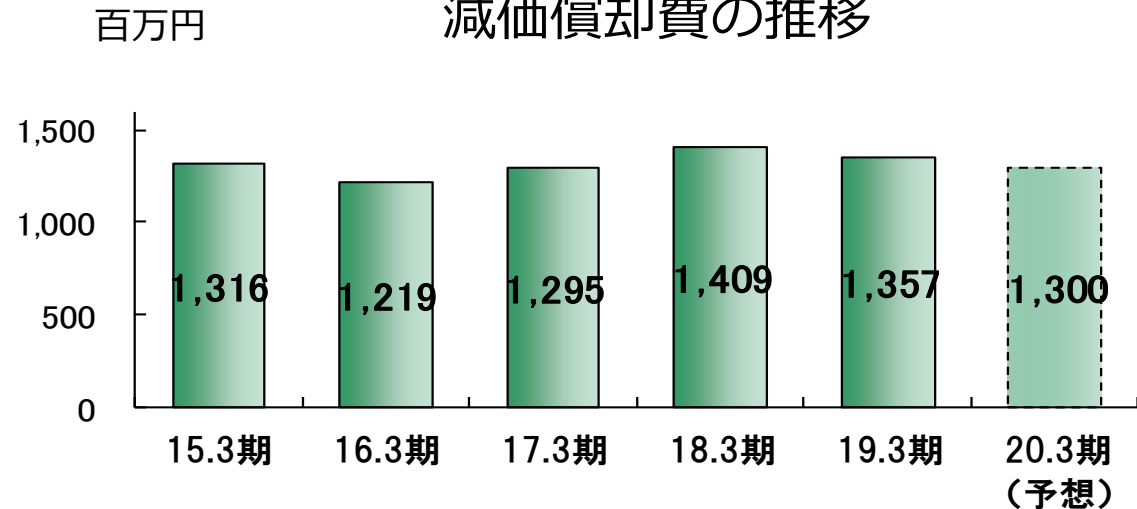


主な設備投資実績

19.3期

関工場生産設備	1,003
製錬環境処理設備・拠点拡充等	1,645

減価償却費の推移



主な設備投資予定

20.3期

関工場生産設備※	2,600
製錬環境処理設備・拠点拡充等	2,900

※本投資の総投資額（予定）は約36億円となります。



ご清聴ありがとうございました。

弊社HP **松田産業** **検索** <http://www.matsuda-sangyo.co.jp/index.html>

本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を追うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

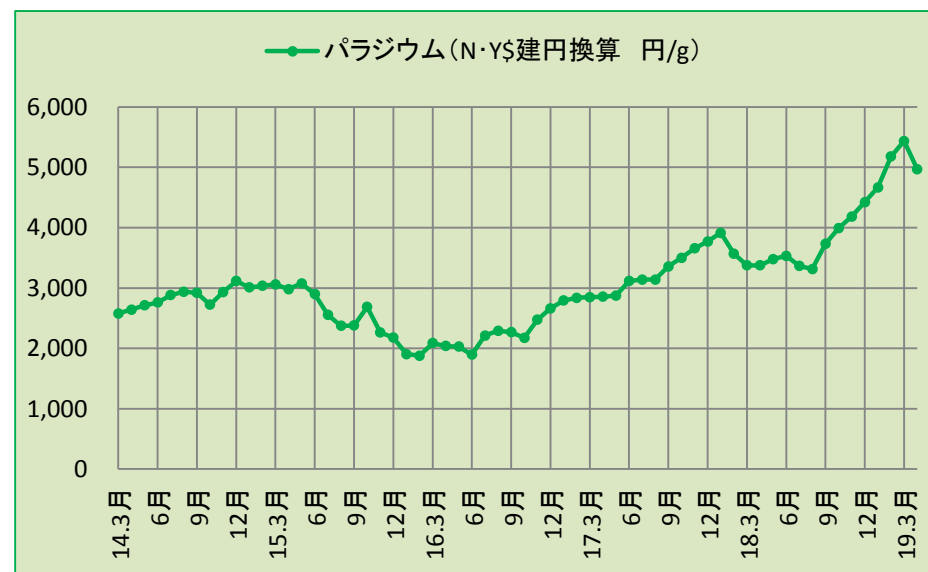
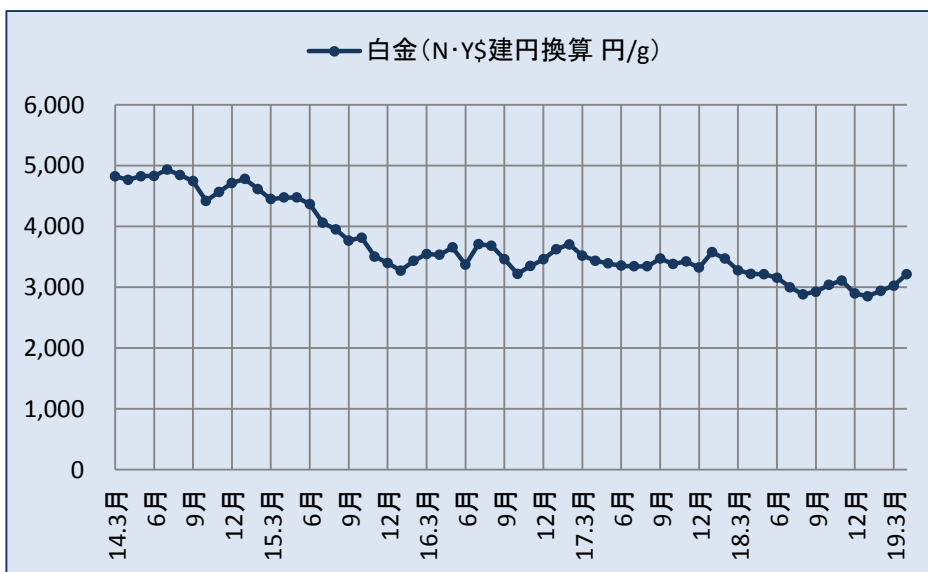
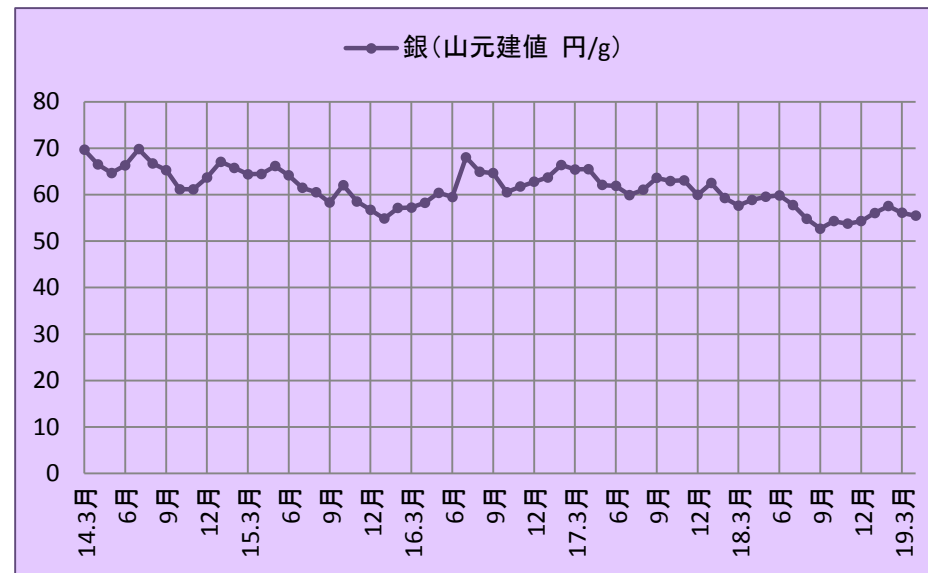
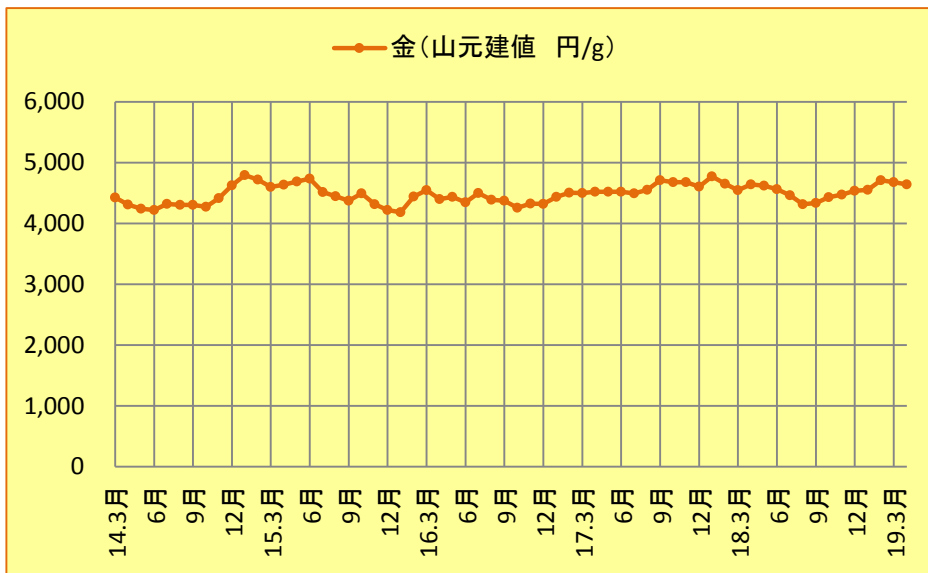
本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

ご参考



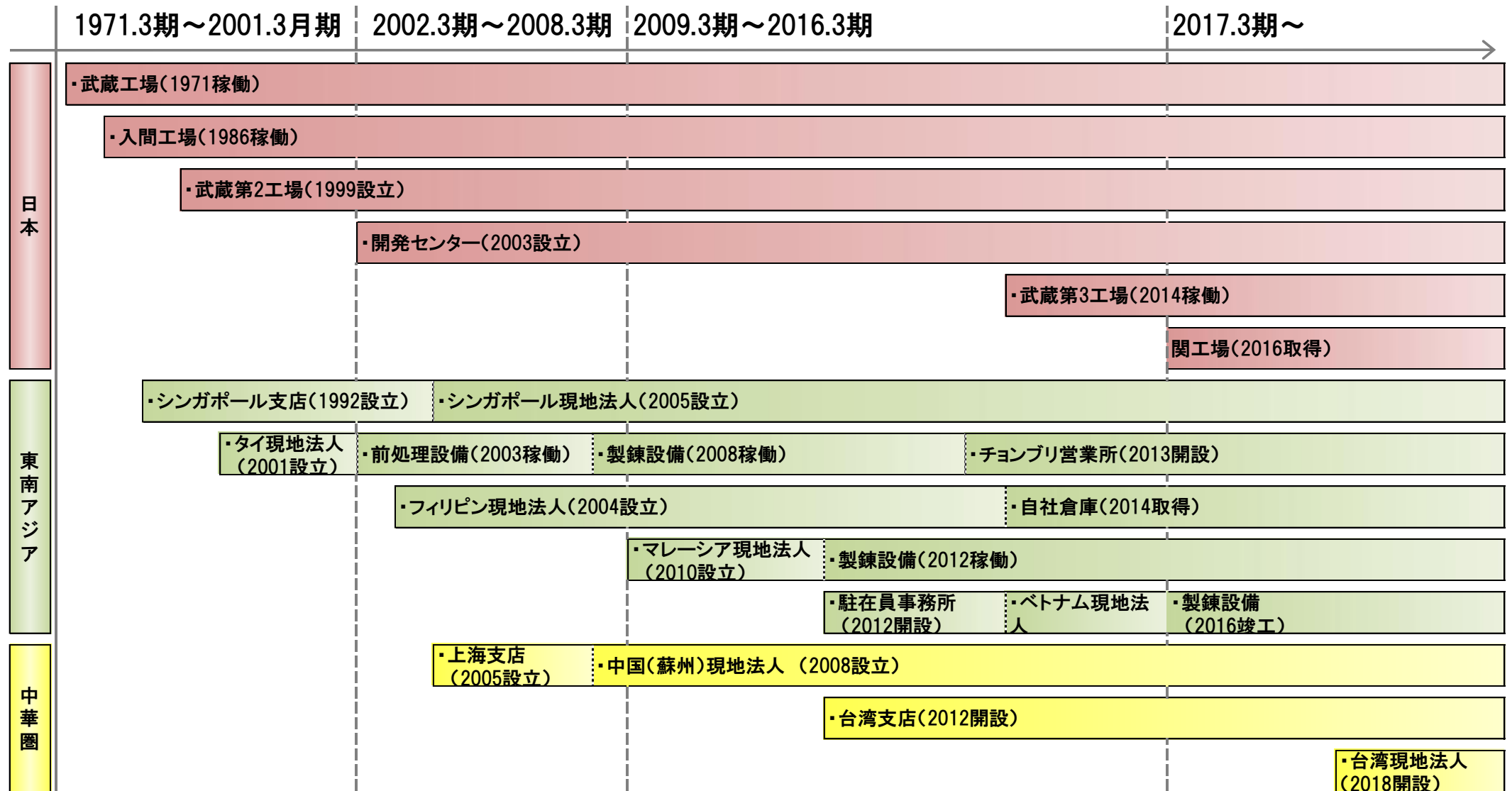


(ご参考) 貴金属相場の推移





(ご参考) 貴金属関連事業の拠点展開の軌跡



※年の表示は各イベントが属する決算期による(例: 2012⇒2012年3月期)。1992年までは12月決算、1993年以降は3月決算。